

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年3月26日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 4 0 3 「 栄 の 冠 を 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 2 6 6 「 主 よ 共 に ま し て 」	一 同
教会学校	紙 芝 居 「 ロ バ に 乗 っ た 王 様 」	牧 師
讃 美	聖 歌 6 5 4 「 一 度 死 に し 我 を も 」	一 同
聖書朗読	エゼキエル37:1-6	
奨 励	エゼキエル書の福音(第13回)	牧 師
主 題	「ドライ・ボーンズ」	
讃 美	聖 歌 6 5 3 「 イ エ ス は わ が 命 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 3 7 6 「 父 、 御 子 、 御 霊 の 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	エゼキエル書第 38,39 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（2コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース

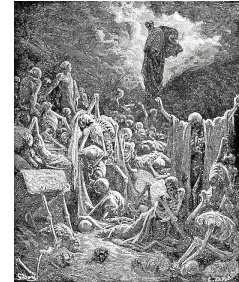


《今週の歩み》

3 / 26(日) 聖日礼拝
/ 27(月)
/ 28(火)
/ 29(水)
/ 30(木)
/ 31(金)
4 / 1 (土) 13-16子供オプンハウス

《祈りの課題》

- ① 礼拝に来れなかった人々のために
- ② 教会学校の子供たちが救われますように
- ③ 来週の受難週への心備えのために



「涸谷の幻」
(ギョースタフ・ドレ作)

獄中からの手紙

「夢・幻をも用いて導く神様」

(徳島刑務所の吉岡利夫さんからの手紙 23/2/19)

さて、今日は事後報告になりますが、私の近況の証を記し、旭ヶ丘キリストの教会の人たちにその証をもって嘆願した祈りの感謝とさせていただきます。昨年の6月に同囚とトラブルを起こした私の閉居罰は同年7月に明けましたが、私は工場での就業を拒否して再度、閉居罰に坐りました。そしてその後も、2回、3回と「工場就業拒否」して坐りました。といいますのは、懲罰が明けて私が言い渡された配役先の工場には、過去にトラブルを起こした相手やその暴力団関係者が居ることから、私とその工場に出て行けば当然、工場内に緊張と陰悪な空気が流れて周囲の同囚に迷惑をかけることとなります。それを避ける方法として、私は就業拒否をして座るしか選択肢はありませんでした。私たちの間では、トラブルの相手が居る工場には出て行かない、出て行ったとしてもそれが分かれば事を構えず、静かに作業拒否などで工場を出て行くというのが同囚間の暗黙のルールなのです。閉居罰中の私の祈りは、千田さんたちに祈りをお願いしましたように、元の工場に戻していただくことでした。が、現実的には私たちがトラブルを起こした工場に戻ることは難しく不可能に近いです。

…三回目の工場での就業拒否に対する懲罰審査会の数日前、私はとても不思議でリアルな夢を見ました。真っ白な教会堂のような部屋の中で、長いすに座った私の目の前に、浴衣のようなドレスを着て左の胸には平仮名で「しずか」と記した楕円形のワッペンをつけたご婦人が立って「利夫さんがかくのです。かきなさい」と言うのです。私は夢の中でその意味が分からず戸惑い、ただあ然と婦人を見つめていました…。

懲罰審査会への出席は任意ですが、出席をしない者には官が用意した所長宛弁解書に、犯則に至った原因とその弁解を書くことが出来ます。其処で私は審査会には出席をせず、弁解書に自分の思いを正直に素直に書くことにしました。「私が言い渡された配役先の工場は、過去にトラブルを起こした相手の関係者が居ることから、その工場での就業は私にはとても困難です。しかし、それは己が弱いた愚かな種の結果であり、自業自得は自明です。したがって弁解の余地はなく、坐って猛省します！」と記したのです。

私が提出した短く簡素な弁解の文言は実際は夢の中に登場した「かきなさい。かくのです。」と言った、あの婦人に導かれたものと私は確信するのです。そしてこの文言が偉いさんの心を開いて下さったかどうかは、私にはそれを知るすべはありませんが、確実に目に見えて閉居罰という苦境が好転に移り変わって行ったのです。

「何事も、いかなる理由があるにしても、暴力では解決できない。」と偉いさんに私は諭されました。そしてそして山は動いたのです。神は不可能を可能にしてくださいました。解罰に言い渡された工場は元の工場への配役となりました。私の魂は只々感謝に打ち震えました！